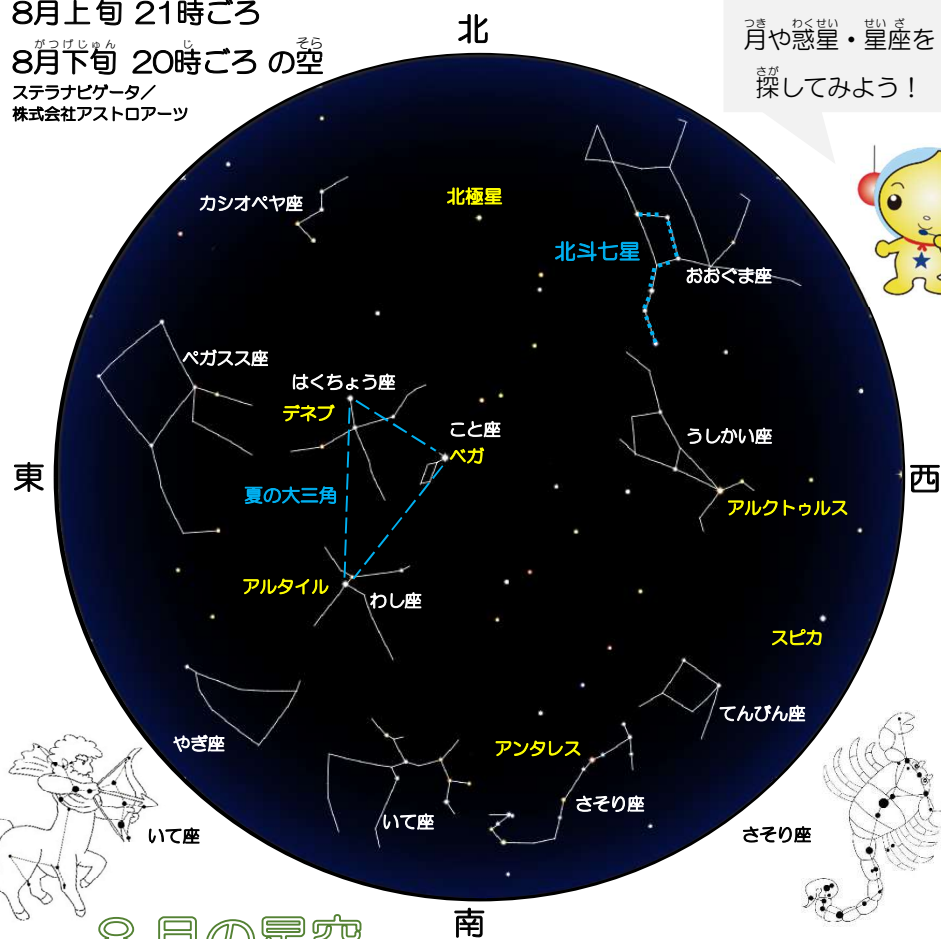


月刊 星空の散歩道 8月号

2026年

8月上旬 21時ごろ
8月下旬 20時ごろ の空
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ

つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが 探してみよう！



8月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座、南の空に夏の星座、東の空に秋の星座が見えています。

- < 西 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 天頂 > こと座 (ベガ)、はくちょう座 (デネブ)、わし座 (アルタイル)
- < 南 > さそり座 (アンタレス)、いて座
- < 東 > ペガサス座
- < 北 > 北極星、おおぐま座、カシオペア座

☆天文トピック☆

8月12～13日 ペルセウス座流星群
多くの流れ星が見られる現象。13日午前11時頃にピークを迎えると予想されています。12日夜、13日夜の2晩は条件が良さそうです。(詳しくは「天文コラム」参照)

8月19日 伝統的七夕
旧暦の七夕(7月7日)。晴れていたら、おりひめ星(ベガ)とひこ星(アルタイル)を探してみましょう。

☆月の形の変化☆

8月6日	下弦	☾
8月13日	新月	●
8月20日	上弦	☾
8月28日	満月	○

☆8月の惑星☆

金星…日没後、西の空
土星…真夜中、東の空
火星…明け方、東の空

<天文コラム>この夏、流れ星を見よう！

毎年、お盆の頃に極大を迎えるペルセウス座流星群ですが、今年は条件が良さそうです。極大時刻の予想は8月13日11時頃と昼間に当たっていますが、その前後の13日未明と13日夜には、晴れていれば流れ星が見られそうです。13日が新月となり、月明かりがない夜空となるため、晴れば、いつもより暗い星まで見えるはず。すると流れ星も見えやすくなるというわけです。

流星群は、その名を冠した星座を中心に星が放射状に飛びます。いつどこに流れるかは、予想することができません。できれば一度に空の広い範囲を眺められるよう、レジャーシート等の上に仰向けに寝転がり、少なくとも15～30分ほど、空を眺めるようにして見てください。星がたくさん見える方がより暗い流星も見えることになるので、できるだけ夜空が暗い場所を探して観察してみましょう。空の暗い場所で、1時間あたり30個ほどは見えるかもしれませんよ。

また、この時期は他にも流星群が重なっているため、流星観察には好期です。時にはまぶしいくらいに明るい「火球」と呼ばれる流星も見られることがあります。この夏、チャレンジしてみませんか。



ペルセウス座流星群の流星
(当館職員 2004 年撮影)

